

## 第9回嬉野市教育委員会議（定例3月）

平成30年3月26日（月）10:00～11:30

嬉野市役所 3-2, 3-3会議室

### 1 開会

新教育委員会制度となったため教育長が議長をすることになる。嬉しいお知らせとして平成30年度子ども読書活動推進実践校として嬉野中学校が文部大臣賞を受賞することになった。4月23日に東京で表彰式が行われる予定である。3月24～25日に全国中学生選抜卓球大会が京都で実施され大野原中の1,2年生が参加した。結果はまだはっきりしないが今一つであったようだ。

嬉野市では今月30日に辞任式を実施する。加配の教員も多数来られることになっている。

### 2 会議録署名委員 ○○委員 ○○委員

### 3 議題

#### (1) 協議

##### ①嬉野市教育創新プランについて

(教育長) ・本プランについては平成26年度から30年度までの計画であり、特に新しい委員の方はご確認いただきたい。運営ビジョンでそれぞれの事項の取り組み開始時期を示しており30年度もこれに従い実施していく。ただし新市長の考えを反映していくことにはなる。新市長も子育てに関しては前向きであるため肉付け予算を今後要求していくことになる。

##### ②嬉野っ子ワクワクデザインについて

(学校教育課長) ・嬉野っ子ワクワクデザイン2018ということで1年間の計画を作成しているがこれはまだ決定ではなく案なのでご意見により変更していきたい。嬉野っ子輝きアクションプラン29と見比べながらみていただきたいが、今回の「ワクワク」は新市長がマニフェストの中で使用している言葉である。内容として大きく変更しているのはプラン3の体育面を挿入していることである。これまでやっていなかったという訳ではないが評価委員会で「体育面も入れてはどうか」との意見もあったので「知・徳・体」をまず持ってきた。体育面を増やした関係で「地域と共にある学校づくり推進事業」を削っているがこれは平成26年度にすべての学校がコミュニティスクールの指定を受けほぼ軌道に乗った状態となったため計画からは取り下げた。

(教育長) ・校長先生の知恵袋事業については嬉野市の特徴的な取り組みであり、校長先生の

マニフェストのようなものである。昨年度までは 200 万の予算を 11 の学校で使った。今年度は骨格予算のため 6 月補正で予算要求する。

### ③学校現場の業務改善計画について

- (学校教育課長) ・文科省より教職員の働き方改革の提言がなされ特に中学校教員の働き過ぎが指摘されている。県教育委員会、市町教育委員会、学校がそれぞれ業務改善の計画を作ることになり、嬉野市教育委員会の業務改善計画としてお示しするものである。業務時間をきちんと記録するシステムを設け、毎月集計して実態をきちんと把握する。8 月 13 日から 15 日までの学校閉庁日を設けて出勤を禁止する。年間 14 日以上の子休を取るように呼びかけを行う。毎月第 3 日曜日を部活動休養日として県で統一して取り組む。といった取り組みを行うような計画を提案する。
- (教育長) ・8 月 13 日から 15 日までの学校閉庁や毎月第 3 日曜日の部活動休養日については県下一斉の取り組みとして年度前から準備されていたものである。働き方改革は教職員の意識改革もしないとなかなか実現していかない。
- (〇〇委員) ・学校現場の業務改善を強い気持ちで実施いただくとのことで非常に期待している。中途半端では意味がないし初めが肝心と思われる。
- (〇〇委員) ・学校現場の改善に取り組んでもらうことは先生たちにとってありがたい。管理職のメンタルヘルスに関する専門性を図るための方策があるのか。
- (学校教育課長) ・管理職の研修会などは予定していないがストレスチェックを予算化しており結果により専門医や管理職への相談を行うことになる。校長先生が職員のスツレス度合いを確認して話をする機会が増えることになる。
- (〇〇委員) ・中学校の部活動は全て教員が指導しているのか。外部指導員はいないのか。
- (学校教育課長) ・外部指導者は市内で 10 人ほどいるが教員のお手伝いの立場である。法改正により教員以外も顧問を出来るようにはなった。
- (〇〇委員) ・保護者によっては外部指導者がいればその方にもっと指導をしてほしい、もっと練習させてほしいという方がいる。そのような方がいても部活動の休養日は守っていただきたい。
- (学校教育課長) ・保護者等の意識改革も必要と思われる。
- (〇〇委員) ・嬉野市でも正式な外部指導者を導入する可能性があるのか。
- (学校教育課長) ・今そのような人材がいるか調査をかけているが人材がない。
- (〇〇委員) ・自分の意見としては部活動はあくまでも教育だから教員にはかかわってほしいと思う。

## (2) 報告

### ① 3月議会報告について

- (教育長)
- ・ 芦塚議員から教育委員会新制度と教育環境の向上について質問があっており、答弁書のように答えている。
  - ・ 山口忠孝議員から小中学校の学習状況調査の結果への感想を求められたため、嬉野市全体としては概ね良好な状態であると答えている。また今後の施策については、現在概ね良好な状態であるため、今後も知徳体のバランスのとれた取り組みを行っていききたいと答えている。
  - ・ 諸井議員から学校における働き方改革について、「嬉野市内の現場をどのように把握しているか」という聞き方をされたのでその場で考えながら答弁を行った。教員が担うべき業務の確立と他業種との校務分掌の適正化についてとのことであるが、教員がなるべく多く児童生徒と関わりある時間を確保するため、コミュニティスクールのメンバーに入ってもらったり学級費の集金の事務職で行ったりしていることなどを答えている。教育委員会スタッフの拡大についてはスタッフは充分ではない旨の答弁をしている。給食費の公会計化についての質問については、給食費の徴収率が現在私会計で 99.5%であるが、公会計を実施した 3 市町は未納が増えたとの答弁をしている。給食費の無料化については、市長より完全無料化は出来ないが第 3 子からの無料化などを検討したいと答弁された。
  - ・ 梶原議員からは新教育委員会制度の効果と課題との質問については、まだ明確にはわからないが責任と権限が同時に来たので重い責任を感じている旨を答えている。教育委員とはこれまでどおり情報を共有しながら取り組みを行っていききたいと答弁している。
  - ・ 宮崎良平議員が今後の茶の取り組みについての質問の中で、「茶育」についてあったが、茶育という言葉は日本茶普及協会が「茶育指導士」の認定試験を行うとして使用しているようである。家庭の中で急須を使わないところもあるとのことを懸念しての質問であったようである。
- (〇〇委員)
- ・ お茶の淹れ方教室は嬉野学の中でどこの学校でも行っている。

### ②平成 30 年度教育委員会の主要な事業について

- (教育部長)
- ・ 適応指導教室の利用者が今は少ないということで指導員を 3 人から 2 人に減らし、特別支援教育支援員を 13 人から 14 人に増やしている。英語活動推進員は 30、31 年度は 2 人体制、32 年度からは 3 人体制に増員していききたい計画である。校長先生の知恵袋事業、中体連選手派遣については骨格予算のため、後に補正の予定。奨学資金貸与については新規は各 1 人ずつに減額されている。幼稚園就園奨励費は市内 3 園のうち嬉野幼稚園が認定こども園に移行されたことにより補助対象外とな

る。子ども学校塾は骨格予算のため6月までの3ヶ月分が当初予算に計上されているが後で補正で増額の予定。辞書引き学習、英検、大学生海外留学は骨格予算となっている。発達障害理解啓発事業は30年度までの事業。轟小のプールろ過装置を砂式から珪藻土式に入れ替える工事を行う。旧五町田小門柱移転は民地に門柱があったものを現五町田小学校に移転するもの。伝統的建造物群保存対策事業は円田家の修復等を実施。街なみ環境整備事業は塩田津の市道の改修工事の継続。塩田給食センター、嬉野給食センターの備品の入れ替えを行う。

(文化スポーツ振興課長) ・ほとんどが骨格予算である。市民センター建設事業費が減っているように見えるが29年度からの継続事業であり29年度に前渡しの額が大きかったことによるものである。公用車購入についてはあまりにも老朽化していたため買い替えるもの。

(〇〇委員) ・市民センターとは何のことか。

(文化スポーツ振興課長) ・現嬉野公民館を建替えるもの。

### ③社会教育関係行事について

(文化スポーツ振興課長) ・資料に掲載のとおりであるが児童生徒を対象とした事業は今回は入っていない。

### ④平成30年度いじめ対策委員会委員及び学校運営協議会委員について

(学校教育課長) ・いじめ対策委員会委員及び学校運営協議会委員については、教育委員の承諾を得てから本人の内諾を得ることになっている。確認の上承諾をお願いしたい。

### ⑤不登校の状況について

(事務局) ・2月末現在の資料である。前月と変化なし。出現率で言うと中学校で2.49%、小学校で0.29%で前年度をやや上回る結果となっている。

### ⑥いじめの状況について

(事務局) ・3月の集計が未完成であるが春休みに入ったので今年度はほぼこの数値で確定と思われる。小学校が覚知23件、認知11件。中学校が覚知22件、認知11件である。一旦終息した後3か月間様子を見て何事もなければ「解消」としている。11月末までのものは全て解消している。昨年度は小中合わせて認知が9件であった。これは報告の仕方が軽微となり、わずかな事案でも報告するようになったためである。

### (3) その他

- ・学校教職員の辞任式（※今回から年度内に行う。）  
3月30日（金）16時から 公民館大集会室
- ・新規採用教職員辞令交付式  
4月2日（月）13時30分から 教育長室
- ・学校教職員赴任式  
4月2日（月）14時から 公民館大集会室
- ・小中学校入学式  
4月11日（火）
- ・佐賀県教育員会、市町教育委員会協働会議（教育長、永田委員 参加）  
4月23日（月）14時30分から グランドはがくれ
- ・次回 教育委員会  
4月23日（月）10時から

## 4 閉会

会議録署名委員

---

---